



小諸市の観光地域づくりコンセプト

「詩情あふれる高原の城下町」～ようこそスケッチ文化都市へ!!～

小諸に人が住み始めて以来、小諸の古城、浅間の噴煙、千曲の清流に代表される資源の活用によって、風土、文化が育まれてきました、数々の文化人が愛し、詩に表現したくなる小諸を再興することが「選ばれる小諸」へのカギとなります。

また、今日の観光ニーズは「体験」です。小諸特有の風土、文化の体験を来訪者に提供しながら、小諸に住むすべての人も、あらためて小諸の素晴らしさを発見できるのではないのでしょうか。

このコンセプトのもと、オール小諸で、まちづくりを進めていくことが強く推奨されています。

「観光地域づくりビジョン」の実現に向けた基本戦略

観光資源を磨き・活かす
ストーリー作りと旅行滞在
プログラムの造成

小諸に訪れたい、住みたいと思ってもらうためには、小諸ブランドの的確な発信と、それを体験、体感できる滞在プログラムを提供することが重要となります。カギとなるのは、住民や団体のまちづくりへの参画意識と実行力、相互の協力体制です。

住民・事業者・団体・行政 それぞれの協働が 必要不可欠です。

「観光地域づくりビジョン」の推進で最も重要なことは、住民や事業者、団体、行政がしっかりと連携し、明確な役割分担をして観光地域づくりに取り組んでいくことです。

一人ひとりが地域づくりの担い手であることを意識し、先人が築いてきた豊かな暮らしを子ども、孫の世代まで引き継いでいくこと、それが小諸の未来を創っていくことにつながります。

「観光地域づくりビジョン」の基本戦略の内容

ブランド発信、プロモーションの充実、強化

小諸のブランド価値を確立し、ターゲットに応じ、的確な手法で継続的に発信することが重要となります。また、各組織の協力体制のもと、ブランドコンセプトに基づき、統合的に情報を発信していくことが大切です。

観光基盤の充実・強化

観光基盤を4つに分類し、素材価値を強化します。

- ・歴史、文化や商都などの城下町エリア
- ・自然体験アクティビティを楽しめる山岳エリア
- ・農業、生活文化など小諸の風土や自然景観を味わえる中山間エリア
- ・工業や医療、教育などの新開拓エリア

「観光地域づくりビジョン」の基本戦略を支える

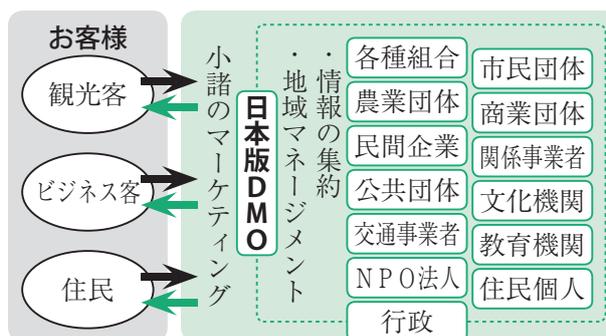
～観光推進体制の再構築（日本版DMO）

観光地域づくりビジョンを実現させるには、データに基づき、現状を的確に捉え、コンセプトに基づく解決策を具体的、持続的に展開することが必要です。

このため、継続的に観光地域づくりを推進し、お客様へ一元的にブランドを発信していく機能を有した「日本版DMO」という組織を立ち上げます。

この組織をベースに、観光交流客へより快適な時間を提供し、住民にとっても豊かな暮らしを実現する「観光地域づくり」に取り組みます。

～観光地域づくりビジョンのベース（土台）となる組織



➡ 観光、宿泊、地域文化などの情報収集、旅行の予約等
 ← お客様が求める情報をまとめて発信